



和み歌いし山々に



和歌山県合唱連盟会報

2023年度和歌山県合唱コンクール 開催！

2023年度和歌山県合唱コンクール

2023年8月19日(土)

海南市民交流センター ふれあいホール

審査員(敬称略)

石若 雅弥(作曲家)、坂本 雅代(合唱指揮者)、福田 美保(合唱指揮者)



会場の海南市民交流センター



石若 雅弥 先生 坂本 雅代 先生 福田 美保 先生

審査をつとめていただいた先生方

去る8月19日、海南市民交流センターにて和歌山県合唱コンクールを開催しました。

厳しい暑さにもかかわらず、多くの方にご来場いただきました。

感染症対策として設けられていた様々な制約がなくなって初めてのコンクール。台風一過の晴天が広がる中、児童・生徒のみなさんが暑さに負けない活気溢れる歌声をホールに響き渡らせました。

小学校部門	1 団体	35 人
中学校部門	3 団体	78 人
高等学校部門	3 団体	66 人

審査結果 ※出場順

小学校部門	田辺市立会津小学校合唱部	銀賞(代表)
中学校部門 同声合唱の部	和歌山市立日進中学校合唱部	金賞(代表)
	田辺市立東陽中学校合唱部	銀賞
中学校部門 混声合唱の部	和歌山市立日進中学校混声合唱団	銅賞
高等学校部門 Aグループ	和歌山県立向陽中・高等学校合唱部	銀賞
	和歌山県立田辺中学校高等学校合唱部	金賞
	和歌山県立桐蔭中学校・桐蔭高等学校音楽部	金賞(代表)



表彰式の様子

全日本合唱コンクール推薦団体より

夏休み。子どもたちはほぼ毎日、合唱部の練習に参加しました。和歌山県合唱コンクールの結果発表で、全国大会への出場が決まった時はみんな大喜び。

コンクール後、すぐに自分たちの演奏を振り返りました。舞台を経験するたびに成長する子どもたち。更なる改善点をたくさん見つけることができました。これから全国大会に向けて、みんなの音をよく聴き合い、一つのハーモニーを創り上げることを目指していきたいと思います。聴いている人の心に響け！会津サウンド♪

会津小学校合唱部 顧問 橘 創 先生

関西合唱コンクール推薦団体より

この度県の推薦をいただき、部員一同とても誇りに思うとともに、大きな使命を感じております。これまで応援して下さった和歌山県合唱連盟のみなさまに心から感謝申し上げます。そして部員の家族、友達、地域の方々を始め、支えて下さった全ての方々に心からお礼申し上げます。歌は人のこころを癒し、人と人のつながりをつくることができます。関西合唱コンクール当日も聴いていただくお客様に少しでも喜んでいただけるように歌声と言葉に思いを込めて全力で歌いたいと思います。

日進中学校合唱部 部員一同

私たちは「強く、美しく、あたたかい音楽」を目指して、曲に込められた思いや曲が持つ魅力を歌声で表現するために、日々練習に励んでいます。関西合唱コンクールでも、素晴らしい KOBELCO ホールで私たちの歌声を響かせられるよう、精一杯歌いたいと思います。「ねんね根来の」では淡く神秘的な雰囲気、「百八歳まで」では生きていくことの喜びを、仲間と共に歌えることに感謝し、部員一同、心ひとつに、私たちの音楽を届けてきます。

桐蔭高等学校音楽部 1年 碓石 裕布佳 さん

私たちは日々の練習の中で、一つ一つの行動に意味を持たせながら集中して練習に励んでいます。この夏は、部員同士が言葉にして指摘し合える信頼関係ができ、それは合唱をする上で大切な「息を合わせる」ことにも繋がりました。県のコンクールが終わってからは、KOBELCO ホールに立てる喜びと、県代表として良い結果を和歌山に持ち帰りたいという思いを胸に、各々が課題に向き合っています。大切な仲間、そして先生方と心ひとつに9月23日はKOBELCO ホールに“強く、美しく、あたたかい音楽”を響かせてきます。

桐蔭高等学校音楽部 3年 松本 梨央 さん

スタッフをつとめて

今回、私は初めてコンクールスタッフを務めさせて頂きました。前日に急遽仕事内容の変更がありましたが、初めての私でも理解できるよう細かく丁寧に説明して下さったおかげで、スムーズに仕事を進めることができました。私が担当したのはリハーサル管理の仕事だったので、出場される皆さんのコンクールに挑む姿勢を見て、私自身の刺激にもなりました。

また、スタッフの方々が、コンクールを無事に成功させるためにたくさんのことを考えながら動いてくださっているのだということを知ることができ、そのうちの一人として携わることができたのも本当に嬉しく思います。

今回、初めてスタッフとして参加させて頂きました。少し不安な面もございましたが、事前のスタッフラインでの懇切丁寧な説明、そして当日、周りのスタッフの方々に助けをもらいながら、無事に役目を務めることができました。会場の外からではございますが出演者のみなさんがこれまでの練習の成果を十分に発揮して精一杯歌っている声がきけたこと、とてもうれしく思います。

これまで裏方で支えて下さった大会理事の方やスタッフの方々のご苦勞に感謝して合唱の活動に関わっていきます。

全日本合唱コンクール、関西合唱コンクールの日程等は6ページに記載しております。
県代表の各団体の勇姿をぜひ現地でご鑑賞ください！

第46回全日本おかあさんコーラス全国大会

第46回全日本おかあさんコーラス全国大会

2023年8月26日(土)・27日(日)

アクリエひめじ

選考委員(敬称略)

上田 真樹(作曲家)、覚 和歌子(詩人)、川上 洋司(声楽家)、
長谷川 冴子(合唱指揮者)、平井 秀明(指揮者)



表彰式の様子

8月26日(土)と27日(日)の2日間、兵庫県のアクリエひめじにて「第46回全日本おかあさんコーラス全国大会」が開催され、和歌山県代表として女声合唱団 Mimosa が出場しました。

全国から、2日間合わせて68団体1,737名※が出場され、演奏はもちろん衣装やパフォーマンスも工夫をこらし、「聴いて観て楽しい全国大会」となりました。

女声合唱団 Mimosa は26日(土)に出場し、各日の出場団体のうち上位3分の1に贈られる「ひまわり賞」を受賞されました!

※うち1団体出場辞退

メンバーからのコメント

姫路にて開催された全日本おかあさんコーラス全国大会に初出場してまいりました。

アクリエひめじでの演奏は2度目でしたが今回は全国大会ということもあり、満員に近いお客様でいっぱい、舞台に立つと壮観でした。

ロビーでお迎えしてくれていた大小さまざまなキューピー人形に癒されたのも束の間、いざ本番に向けてのスケジュールが動き始めると、初めて尽くして緊張感が徐々に高まっていきました。それでも、たくさんの皆様にミモザの演奏を聴いていただける嬉しさが勝り、本番はとても気持ちよく歌えたと思います。結果は、優秀賞である「ひまわり賞」をいただきました!

それもあってか、演奏後多くの方々から温かいお声かけをいただいたり、ザ・パーティーでは石川県の合唱団の皆さんと仲良くさせていただきただけでなく選考委員の先生方から貴重なコメントをいただき大変充実した週末となりました。



女声合唱団 Mimosa のみなさま



後援演奏会のご案内

田辺市民合唱団 第 34 回定期演奏会

2023年10月21日(土) 14:00開演(13:30開場)
紀南文化会館 小ホール

《出演者》原盾二郎、小幡奈美、西野郁子

《特別出演》森克海(マリンバ)

《演奏曲》矢田久子：『空とぶうさぎ』／高田三郎：混声合唱組曲『水のいのち』より
高田三郎：混声合唱組曲『心の四季』

《問合せ先》090-1139-2335(井上)／hirokiuta@gmail.com

毎年欠かす事なく開催してきました定演演奏会が、コロナ禍により実施出来ない状況となっていました。ようやく4年ぶりに開催の運びとなりました。とにかく歌いたい想いを抱いた団員一人一人のハーモニーを存分に皆様にお伝えしたい。そんな中、限られた時間での練習に励んでいます。土曜日の昼下がり、是非お時間のある方は紀南文化会館まで足をお運びください。

Ensemble Mikanier 第 16 回定期演奏会 (the) present⇒

2023年12月10日(日) 15:00開演(予定)
和歌山城ホール 小ホール

《出演者》伊東恵司、阪本健悟、矢吹直美、古谷優子 ほか

《ゲスト》千原英喜

《演奏曲》千原英喜：『くるみ割り人形』『レクイエム第2番』『みやこわすれ』／
相澤直人：『うた～再び結ばれるとき』／名田綾子：『スコーンが焼けたら』ほか

《問合せ先》090-3715-1048(阪本)／mail@mikanier.net

昨年一部初演した「くるみ割り人形」を今年は全曲演奏するほか、名田綾子先生の「スイーツ」をテーマとした新シリーズ、公募ステージでは千原英喜先生の作品をご自身の指揮とピアノで演奏いたします。

後援について

和歌山県合唱連盟では各種コンサート、ワークショップなど加盟団体が関係するイベントを後援しております。加盟団体であれば所定の書式での申請は不要ですが、後援名義使用に際しては事務局までご連絡をお願いいたします。

【広報方法】

県連ホームページ、公式 SNS、会報、加盟団体へのご案内(メール・郵送)など

【注意事項】

- ・申請時、演奏会の概要がわかる資料があればそちらも添えてご連絡ください。
- ・終了後、プログラムのデータを事務局までお送りください。メールが難しい場合は 1 部を事務局までご郵送ください。
- ・その他詳細については、ご連絡をいただいた際にご説明いたします。

Joint Concert 2023

2023年7月15日（土） 17:30 開演 伊丹市立文化会館 東りいたみホール 大ホール

今回の JOINT CONCERT は人数の都合上、団の単独ステージはなく、オープニング、合同ステージ、アンコールへの参加でした。練習はじめはリズムも音も歌詞も難しい曲でしたが、練習を重ねるにつれ、曲に対する理解が深まりました。

本番はオープニングとアンコール、合同ステージをプロのブラスバンドの方々と演奏する、非常によい経験ができました。また遠征といえる今回、7 団体参加という大所帯での演奏会ということもあり、様々な方に助力していただき、素晴らしい演奏会となりました。

アンサンブル和歌山 第 13 回レギュラーコンサート

2023年8月20日（日） 14:30 開演 メディア・アート・ホール

ピアノ：岩橋梨恵

皆様こんにちは！アンサンブル和歌山です。コロナもようやく落ち着き、3年ぶりに制約のないコンサートを開催することができました。

アンサンブル和歌山では、メンバー一人一人が音楽を楽しむことはもちろんのこと、聴きに来てくださったお客様も一緒に楽しんでいただけるコンサートを目指しています。

今年は男性メンバーが加入したことで、女声合唱曲だけでなく、混声合唱曲にも取り組みました。また、曲紹介についてはメンバーが行い、聴いていただきたいところや、選んだ理由などもお話しさせていただくことで、お客様との距離感を少しでも縮められたかな、と思っております。最後はたくさんの拍手をいただき、今後に向けての励みになりました。合唱をより身近に感じていただき、たくさんの方と音楽の楽しさを分かち合える演奏を目指して、これからも活動を続けていきたいと思っておりますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

■ 原稿募集 ■

みなさまから団体紹介の原稿を募集します。

以下の内容に沿って原稿を作成いただき、事務局までご連絡いただけますと幸いです。

【原稿項目】

- 団体名（よみかた）
- 練習日程（曜日、時間、頻度）・練習場所
- 指導者
- 団員数
- メールアドレス
- ホームページあれば URL
- 団体紹介（300 字程度）
- 団員からの一言（100 字程度、2～3 名分）
※お名前は不要です
- 演奏会情報（あれば）

【注意事項】

- 原稿はメール本文または Word 等のテキストファイルにご入力の上、メールにてご送付ください。
- 掲載順は紙面の都合上編集部にて決めさせていただきます。必ずしも先着順となるわけではございませんのでご了承ください。

和歌山県合唱連盟 行事予定

第10回和歌山県ヴォーカルアンサンブルコンテスト

日 程 2024年1月28日(日)
会 場 海南市民交流センター ふれあいホール
☆詳細は後日ご案内します。

関西合唱連盟 行事予定

第78回関西合唱コンクール

中学校・高等学校部門

日 程 2023年9月23日(土・祝)
会 場 兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール
☆和歌山県からは、和歌山市立日進中学校合唱部(中学同声)、和歌山県立桐蔭中学校・桐蔭高等学校音楽部(高校A)が出場します。

大学職場一般部門

日 程 2023年10月7日(土)~8日(日)
会 場 伊丹市立文化会館 東りいたみホール 大ホール
☆和歌山県からは、ポラリス(室内合唱の部)が出場します。

詳細については、関西合唱連盟ホームページにてご確認ください。

全日本合唱連盟 行事予定

第76回全日本合唱コンクール全国大会

小学校部門

日 程 2023年11月12日(日)
会 場 アクロス福岡 福岡シンフォニーホール
☆和歌山県からは、田辺市立会津小学校合唱部が出場します。

中学校・高等学校部門

日 程 2023年10月28日(土)~29日(日)
会 場 レクザムホール(香川県県民ホール) 大ホール

大学職場一般部門

日 程 2023年11月25日(土)~26日(日)
会 場 りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 コンサートホール

詳細については、全日本合唱連盟ホームページにてご確認ください。

編集・発行 和歌山県合唱連盟事務局
〒640-8481 和歌山市直川 2874-9 澤田方
TEL: 090-3715-1048 (阪本)
E-Mail: wakayama.c.a.office@gmail.com

『合唱』

今年度から、上位大会の開催日程順に合わせる形でNコン〜県合唱コンクールの順での開催となりました。私が和歌山県合唱連盟にかかわるようになってからは初めてのことです。お盆明けの週末の開催ということもあり集客の心配もありましたが、こちらの想像を超えるみなさまにお越しいただきました。合唱を披露する機会において、お客様の前で演奏できることはやはり励みにもなりますし、一層心のこもったものになるものだと思いますので、出場された生徒のみなさんも嬉しく思っていただけではないでしょうか。

2020年からつづくコロナ禍によって学校の部活動への積極的な参加にも影響があり、この3年で県連加盟の各合唱部の部員数は減少傾向にあります。加えて、働き改革等による部活動の地域移行の問題もあり、今後なかなか学校の部活動にとって厳しい状況にあるといえます。そのような状況のなかで、制限の多い活動時期を耐え、ようやく元に近い状態での活動まで紡いでくれている各団体、そしてそれを支えてこられた学校関係者をはじめ、保護者のみなさま、すべての方々に敬意を表します。

さてこのコンクールという事業については賛否あるものであり、コンクールが「目的」となってしまうことは懸念されます。合唱や吹奏楽では「燃え尽き症候群」と呼ばれることもあります。実際に大学進学や社会人になってから以降で音楽を続けられる方が少ないのも事実です。一方で、私自身も合唱団とともに数々のコンクールなどに出場した経験からいえることですが、こうしたコンクールに向けてじっくり作品と向き合い仕上げていく時間は、合唱団の歌心をひとつにシアンサンプルを高めていくという意味でメリットがあることもたしかです。

今回のコンクールで印象的だったのは、会場に到着したときも帰るときもどちらも明るい雰囲気合唱部が多かったことです。真剣な一日ではありますが、楽しもうとしている雰囲気がにじみ出ているところは運営しているこちらもとても清々しく感じました。当日の壇上でも申し上げましたが、今の音楽がすべてではないのです。今日よりも明日、明日よりも明後日、来年、さらにもっと先へと、音楽は生きていますから日々変化していきます。これからまた新たな編成になる在校生のみなさんはぜひさらに伝統に磨きをかけつつみなさんならではのサウンドを築いて行って欲しいです。卒業するみなさんは次のステージに進んでもぜひ合唱を、もし合唱でなくてもなんらかの音楽との時間を大切にしていって欲しいとおもいます。

最後になりましたが、今年度のコンクール開催にあたり、事業継続支援の募金の呼びかけを実施させていただきました。本当にあたたかいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。連盟一同、なんとかこの事業を守っていけるように奮闘したいと思っております。